

演習 I

担当者 初谷 勇

開講時期 通年 単 位 4

●講義の概要

前期には、調査研究の基礎的な方法と技術の習得を図る。その上で、後期には、公共政策や公共経営に関わる理論と、受講生の研究テーマに関わる政策や経営戦略の展開を検討、考察する。

●講義の到達目標

調査研究の基礎的な方法と技術を習得するとともに、公共政策や公共経営に関する諸問題に関して、受講生の研究テーマにおける問題関心を培う。

●講義計画

[前期]

- 第1回 前期演習計画の確認：調査研究の基礎的な方法と技術の習得
- 第2回 研究の方法と技術① 問題関心の記述、下調べ
- 第3回 研究の方法と技術② 文献資料の検索
- 第4回 研究の方法と技術③ レファレンスサービスの活用
- 第5回 研究の方法と技術④ 文献資料の入手、整理
- 第6回 研究の方法と技術⑤ その他の情報の検索、入手、整理
- 第7回 研究の方法と技術⑥ 文献調査報告（調査テーマ提示、文献検索）
- 第8回 研究の方法と技術⑦ 文献調査報告（調査テーマの構造と構成要素）
- 第9回 研究の方法と技術⑧ 文献調査報告（調査テーマに係る議論の分析評価）
- 第10回 研究の方法と技術⑨ 文献調査報告型レポートの作成（注記、参考文献表記等）
- 第11回 研究の方法と技術⑩ 文献調査報告型レポートの発表、ディスカッション
- 第12回 研究の方法と技術⑪ 現場観察の試行
- 第13回 研究の方法と技術⑫ フィールドノート（現場観察記録）の作成
- 第14回 研究の方法と技術⑬ 聞き取り調査の試行
- 第15回 研究の方法と技術⑭ フィールドノート（聞き取り調査記録）の作成

[後期]

- 第16回 後期演習計画の確認：公共政策・公共経営に係る諸問題の探索的研究
- 第17～21回 受講生の研究テーマに関する文献研究（検索、収集、分析評価等）
- 第22～26回 受講生の研究テーマに関する事例研究（巡検、聞き取り調査含む）
- 第27～30回 期末レポートの作成と報告、ディスカッション

●成績評価基準と方法

[評価基準]

- (1) 修士論文作成に必要な、調査研究の基礎的な方法と技術を習得しているか。
- (2) 公共政策学あるいは公共経営学に関する基本的な知識や表現力を習得しているか。
- (3) 受講生の問題関心に応じ適切に研究テーマを設定し、文献研究を行なっているか。
- (4) 受講生の問題関心に応じ適切に事例を選択し、事例研究を行なっているか。
- (5) (3)・(4)を踏まえ、修士論文骨子案の一部となり得るような期末レポートを作成しているか。

[評価方法]

①授業中の報告：15%（15点）、②議論への参加：15%（15点）、③前期の文献調査報告型レポート：20%（20点）、④前期のフィールドノート：10%（10点）、⑤期末レポート：40%（40点）により総合的に評価：合計100%（100点）。

●テキスト及び参考文献

[テキスト]

開講時に、受講者の問題関心、研究計画を考慮し、相談の上決定する。

[参考文献]

ISBN：978-4065135020『最新版 大学生のためのレポート・論文術』、小笠原喜康、講談社、2018年、880円。

ISBN：978-4641161689『組織と経営について知るための実践フィールドワーク入門』、佐藤郁哉、有斐閣、2002年、2,750円。

●受講上の留意点

積極的に、たゆまず学習と調査研究に取り組むことを期待する。